



西建設第 138 号  
平成 19 年 4 月 27 日

国土交通省道路局長 殿

西都市長 橋 田 和



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

このことについて、別紙のとおり回答いたします。

文書取扱：西都市建設課  
TEL 0983-43-0381

## 中期的な計画の作成にあたっての意見

本市で優先度の高い道路政策としては、高速道路網の整備として、東九州自動車道の早期完成、国道219号のバイパス整備による空港・港に通じる物流のネットワークの構築、及び交通渋滞緩和等で宮崎市との連絡時間短縮による経済の活性化。また、本市から九州自動車道の人吉インターに連絡する国道219号の西都～西米良間の山間部は、急カーブで幅員狭隘であり、災害にも脆弱で交通止めも余儀ない状況である。そこで、産業経済の振興、沿線観光資源の交流、沿線市町村住民の生活道路としての生活基盤の振興に大きな効果を発揮するものとして、今後は大規模なバイパス等も視野に入れた改良整備することが急務である。県道未改良区間の整備による交通事故対策の推進及び大規模地震、集中豪雨等の災害時の緊急輸送道路確保が必要である。

さらに、集落と集落を結ぶ幹線市道の改良整備、日常生活に必要な地域市道の改良整備が必要である。

効率化を進める上で重視すべきことは、コスト縮減による事業効果の早期発現、CO2削減による地球温暖化防止対策、入札制度改革等が考えられる。

その他、本市としては、既存道路ストックの高齢化に伴う維持費、また、路面の舗装補修費が今後急速に増大するものと考えられるため、その費用に対する国庫補助・交付金制度が整備されれば厳しい財政状況の下効率的な管理が出来るものである。